

第11回 京都医療センター 1型糖尿病セミナー

リアルタイム CGM と センサー付インスリンポンプ(SAP)

いよいよ日本でもリアルタイム CGM とセンサー付インスリンポンプ (sensor-augmented pump: SAP)の時代が始まろうとしています。そこで今回の1型糖尿病セミナーでは、リアルタイム CGM と SAP の話題を取り上げることにしました。

対象は、1型糖尿病患者の診療に関心がある医師(内科・小児科など)およびコメディカル(看護師・管理栄養士・薬剤師・助産師・臨床検査技師など)です。みなさまのご参加をお待ちしております。

主催：(独)国立病院機構京都医療センター 糖尿病センター

日時：2015年2月14日(土) 17:30-19:30 (17:15 開場)

場所：(独)国立病院機構 京都医療センター

新中央診療棟 4階 多目的ホールにて

地図：当院 HP (<http://www.hosp.go.jp/~kyotolan/>) をご参照ください。

定員：50名(先着順)

参加費：無料

申込方法：氏名(ふりがな)・所属・職種・郵便物送付先住所・電話番号を記載の上、下記宛先まで電子メールにてお申し込みください(電話・FAXによる申し込みは受け付けておりません)。定員になり次第、申し込みを終了させていただきます。

連絡先：kmct1dm-project@umin.ac.jp (糖尿病センター 村田)

プログラム（敬称略）

17:30-17:40 「はじめに」 （独）国立病院機構京都医療センター 糖尿病センター 診療科長 山田 和範
17:40-17:55 「リアルタイム CGM と SAP のエビデンス」 （独）国立病院機構京都医療センター 糖尿病センター 医師 村田 敬
17:55-18:00 休憩
18:00-19:00 「リアルタイム CGM と SAP を実際に使用して」 徳島大学 糖尿病臨床・研究開発センター 助教 黒田 暁生先生
19:00-19:30 ディスカッション

※駐車場のサービスはしていませんので、公共交通機関にてご来場ください。